

【開催日程・会場】

- 平成28年 ① 11月 17日 (木)・② 18日 (金)
- ③ 12月 7日 (水)・④ 8日 (木)
- 午前10時00分～午後4時40分 (受付開始=9時30分)

・「伊場仙セミナー」伊場仙ビル7階
東京都中央区日本橋小舟町4-1 (*当日連絡先:事務局 03-3663-2101)

【募集要項】

- (1)受講対象者 企画、生産・品質管理及び仕入・営業関係等どなたでも受講可能ですが、①②コースは基礎的講座、③④コースは基礎～実務までの講座 (経験2～3年以上向き) となります。
- (2)定員 各コース 50名
※先着順により定員になり次第締切らせていただきます。
- (3)受講料 一般 21,000円(税込) 組合員価格 16,000円 (税込)
※テキスト・資料代を含む ●昼食は各自、休憩時間内にお済ませいただきます。
- (4)申込受付開始 10月 3日 (月)～ (一般受付:10月12日 (水)～)
- (5)申込方法 別添申込書に必要事項をご記入の上、開催の1週間前迄に FAXにてお申込み頂き、受講料も同日までに下記銀行口座にお振込願います。
※ 振込手数料は貴社でご負担願います。
ご入金確認後、受講票と会場詳細地図をファクシミリ致します。
請求書「要・不要」の欄に○印も忘れずにお願致します。
また、当組合研修セミナーHP 申込画面、スマートフォンからもお申込み可能です。こちらも入金確認後、受講券等メールさせていただきます。



三井住友銀行 人形町支店 普通預金 No. 15134 東京織物卸商業組合

【問合せ先】東京織物卸商業組合 担当:風見・新谷 (受付請求および受講券担当:経理課 鶴飼)

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-9-6
TEL 03-3663-2104 Fax 03-3661-5430

HPアドレス <https://www.tafs.or.jp> 〆 housei_gaikan@tafs.or.jp



「縫製と外観検査のポイント研修会」開催内容

※ 開催内容・配布資料は一部 都合により変更になる場合がございます。

講座名・開催日・講師	研修内容	午前の部 (10:00～12:30) (60分休憩)	午後の部 (13:30～16:40)
① 繊維と品質機能 11月 17日 (木) ㈱エムジー商品試験センター 代表取締役 窪田 一郎 氏	○衣料品の性能を決定する材料の基礎をわかりやすく解説します。素材や生地知識は、あなたの仕事に必ず役立ちます！ 1. 繊維 水洗いの可否などは、繊維の性質によって決まります。 2. 糸 ニットの斜行や織物の収縮などは、組織の性質と糸の性質に影響されます。 3. 織物 生地の風合は、繊維と糸の性質に織物組織が影響します。 4. 編物 1本の糸から編立てられるヨコ編み。その構造と性質をわかりやすく説明します。		
配布資料: ①講座テキスト・添付資料②「白布の種類」・③「織物の組織」・④「よこ編各種組織サンプル編地」・⑤第16版「衣料品の見分け方」			
② 総合基礎(品質管理と法令) 11月 18日 (金) 草薙弘・A. Q. C 株式会社 代表取締役 草薙 弘 氏	○コンプライアンス:法令の遵守は企業にとって最低限なすべき事項です。このコースでは、企業が消費者に対して安全・安心かつ魅力ある商品を提供するために必要な内容をわかりやすく解説します。特定芳香族アミン規制や洗濯表示のISO移行、ISO/TC33 (衣料のサイズシステムと表示) 検討など国際標準化対応に向けて大きく進展しています。特に表示のISO移行は直前に迫っていますが、このコースでは具体的に解説します。 1. 品質管理の基本的な考え方 2. 繊維製品品質表示規程の構成 3. 品質表示の基本 4. 取扱い表示、サイズ表示、原産国表示 5. 品質試験報告書について 6. 染色堅牢度、物性試験等 7. 外観検査の留意点及び縫製品検査報告書について 8. 最近の消費者行政 (取扱い表示・特定芳香族アミン法制化・子供服衣料の安全性)		
配布資料: ①講座テキスト(添付資料「縫製と外観検査のポイント」含む)・②第16版「衣料品の見分け方」 その他関係資料			
③ 布帛製品実務 12月 7日 (水) 三島アパレル技術研究室 主宰 三島 良弘 氏	○縫製、検査の基本から実務までアパレルのもの作りを中心に、布帛製品の「縫製と外観検査」について、実際に製品を検査するなど、様々な事故事例を参考に、見て・聞いて・やってみる研修としてわかりやすく解説します。 日本で売られているアパレル製品の70～80%を生産する中国を中心とした海外の縫製・検査(検品)、安全管理等の実情を映像などによりご紹介、製品検査の要点などについて解説します。 I 縫製 1. 縫製の基本 ・企画設計から販売まで ・アパレル生産の原則 ・良い衣服とは何か ・アパレル製品の基本的な品質機能、チェック項目の例 2. パターン (型紙) マーキング (型入れ) 3. 仕様書・指図書の内容 (:書き方 :見方) 4. 縫製の概要 ・生産方式 ・工程分析の例 ・延反・裁断・仕分け・接着 ・立体化の技法 ・ミシンの押さえと送り機構 II 検査 1. 検査の基本 ・検査の目的、検査項目等 ・事前検査のポイント ・検査結果のフィードバック、検査管理 ・品質設定、合否判定 2. 検査実施上の着眼点 3. 検査実施時の留意点 ・検査を行う際の留意点・製品検査の流れ 4. 検査の実務 ・手順、標準動作 ・柄合わせ基準・許容寸法等 * 資料「縫製・検査用語、縫製欠点用語の解説」		
配布資料: ①講座テキスト(添付資料「縫製と外観検査のポイント」含む)・②第16版「衣料品の見分け方」・③「縫い目の種類・縫い形式」 ④検査手順写真「ドレスジャケット」他			
④ ニット製品実務 12月 8日 (木) 一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター 東京総合試験センター 品質管理技術アドバイザー 熊谷 裕子 氏	○編地の特徴・ニット製品に発生しやすい不具合事例・現場で活かせるサンプルチェックポイントなどについて解説します。 1. 編地の特徴についての解説 2. ニット製品のできるまで 3. ニット製品に発生しやすい不具合事例の原因と改善策について解説 ①斜行 ②地糸切れ ③縫い糸切れ ④型崩れ・・・など 4. 企画段階で活かせるサンプルチェックポイント (実演) ①カットソー類 ②セーター類 5. 実習 ※各自セーター又はポロシャツをご持参ください。		
配布資料: ①講座テキスト(添付資料「縫製と外観検査のポイント」含む)・②第16版「衣料品の見分け方」・③「よこ編各種組織サンプル編地」 ④ニット編「縫い目の種類・縫い形式」他・⑤編地サンプル・プリント地ほか提供			